

# ふるさとの会・支援付き住宅推進会議 合同シンポジウム

## 生活困窮者の地域生活支援を考える ～「たまゆら火災」から10年を迎えて～

### 【講演】

宮島 俊彦 氏 「地域で主体的に生きることの支援」

岡山大学客員教授／元厚生労働省老健局長

矢田貝 泰之 氏 「生活保護受給者の日常生活支援について」

厚生労働省社会・援護局保護課長

### 【報告】

滝脇 憲 「「支援付き住宅」実践の検証～なぜ地域でないと支えられないのか～」

ふるさとの会 常務理事

【討論】 「生活困窮者の地域生活支援を考える」

(コーディネーター)

高橋 紘士

高齢者住宅財団顧問／支援付き住宅推進会議共同代表

〈主催〉 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会／支援付き住宅推進会議

#### 支援付き住宅推進会議とは

・2009年に群馬県で発生した「静養ホームたまゆら」の火災を契機に、NPO団体、研究者、医療・保健・福祉関係者などが集まり発足しました。

・単身、困窮の高齢者等が地域で暮らし続けられるよう、ふるさとの会の実践と相互作用を行いながら、低廉で適切な住まいを確保し、生活支援と社会サービスのネットワークで支えるための仕組みの研究、政策提言などを行ってきました。

・「今いるところを支援付きに」していくとともに、NPOや社会的不動産事業者などが空き家を活用し、新たな社会資源を創出していくことを推進していきます。

# 日時：2019年2月23日 (土)

13:30～17:15 (開場13:00)

場所：サンパール荒川-荒川区民会館-第5、6集会室

定員：100名(要申込) 参加費(資料代):1,000円

#### 【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人

自立支援センターふるさとの会 事務局

東京都台東区千束4-39-6-4F

TEL:03-3876-8150

FAX:03-3876-7950

E-mail:info@hurusatonokai.jp



ふるさとの会

## 【開催趣旨】

2009年3月に「たまゆら火災」が起きてから間もなく10年を迎えます。ふるさとの会と支援付き住宅推進会議は「たまゆらの悲劇を繰り返さない」をスローガンに、実践と提言を積み重ねてきましたが、「困窮、高齢、要介護、障害」の四重苦を抱える人の居場所は十分に確保されていません。

2020年からは生活保護制度で「日常生活支援住居施設」の新事業が始まりますが、「たまゆら問題」の解決につながるのかどうかは、今後の展開次第です。ふるさとの会としては、「支援付き地域」のあり方を展望する中で、地域のセーフティネットとして、また多様な担い手に支えられ、町に開かれた「住居」として機能することを目指しています。

今回のシンポジウムでは、この10年を振り返るとともに、次の10年、20年を視野に入れた大都市モデルのソリューションを提示していきたいと思えます。オブザーバー参加、傍聴も可能です。ふるってご参加ください。

## 2.23 シンポジウム参加申込書

### 【会場案内図】 サンパール荒川 - 荒川区民会館 -

東京都荒川区荒川 1-1-1

#### 【東京メトロ】

・日比谷線三ノ輪駅下車 南千住方面改札を出て明治通りを王子方面へ徒歩12分（荒川警察署向い）

#### 【都バス】

・JR日暮里駅東口より「里22」亀戸行き → 荒川区役所前下車 徒歩2分



### <お問い合わせ&お申込先>

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会事務局

TEL : 03-3876-8150 FAX : 03-3876-7950 E-mail info@hurusatonokai.jp

※参加ご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申込下さい。なお、メールからもお申し込みいただけます。

フリガナ	
ご氏名	
所属団体	
部署名	
役職	
ご連絡先	TEL
	FAX
メールアドレス	(メールマガジンの配信) 希望する ・ 希望しない